

大阪樟蔭 09 その2

## (2) 行動分析学の基礎

科学的枠組み（三項随伴性）  
と基本思想（行動する機会の保証）

望月昭 mochi@lt.ritsumeimei.ac.jp

## 基本的枠組み

1. オペラント行動とは？
2. オペラント行動を成立させる随伴性関係の「恣意性 (arbitrary)」とは？
3. そのような行動の (恣意的) 特性を確認することは、対人援助作業をする上で、どのような意味を持つか？



# 三項随伴性の代わりの表現

A B C

A : 先行刺激 (状況)

B : 行動

C : 結果

# 「対人援助」(人を助ける)の 思想としての行動分析学

Not be  
punitive!

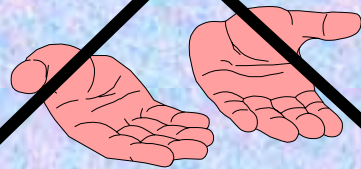


**B.F. Skinner**  
行動分析学の創始者

「人を援助する際の倫理」  
(The ethics of helping people)  
Skinner, 1978

“物を与える事ではなく、彼らが物を得るという  
ことに「生活の質」の目標をおくこと”

~~Given~~



Get



自発的に「行動できる」ということが基本<sub>6</sub>

罰やそれを背景とした「負の強化」でコントロールされるのではなく、「正の強化」でなされるように環境設定を整える。  
(Skinner,1990 . 「罰なき社会」 秘密資料)



「自発的に行動できる」というのは、周囲の環境と無関係に振る舞えるということではない。

「自由」 = 「正の強化」で行動が維持されているときの状態をさす。

Skinner, “Beyond Freedom and Dignity” 7

# 対人援助全般の作業における 行動分析的表現による一般的な目標設定

**「正の強化」**で維持される行動の機会を持ち、  
その機会が拡大していくように援助すること

[ 正の強化 ] : 本人にとって、好ましい  
結果事象を随伴させることによって、行  
動が成立・維持させる操作

[ 負の強化 ] : 嫌悪的な刺激事象がなくな  
るといふ随伴性によって行動を成立・  
維持させる操作（いやいや行わせる）



行動の増大（維持） / 減少をひきおこす二つの随伴性  
の手続き（強化 / 罰）

行動への効果で区別：「好ましい」はずなのに・・・

反応増大（維持）

反応減少

刺激の出現

正の強化

正の罰<sup>\*</sup>

刺激の除去

負の強化<sup>\*</sup>

負の罰

<sup>\*</sup> 罰の効果：「天罰」しか効かない（？）

<sup>\*\*</sup> 負の強化：逃避（escape） / 回避（avoidance）

それまで行動を維持していた強化を中止することで  
行動が減少していくこと・・・ 消去

一見、ややこしい分類をする意味

## 「意図」と「事実（効果）」の違い

- ・ 「ごほうび」を与える  
与える側が「正の強化」と意図していても  
効果は逆のことがある
- ・ 「体罰」を与える  
「正の罰」と意図していても強化になる  
場合もある

# 罰や負の強化で行動が 維持されると？

- 多くの**社会的課題**や**問題行動の原因**の殆どはこのネガティブな行動の統制によるものと考えられる

**負の強化：嫌悪的な事態からの  
逃避・回避によって維持された  
行動の結果**



[トップページ](#)

[安全への取り組み](#)

[企業・IR情報](#)

[鉄道事業](#)

[関連事業](#)

## 安全への取り組み Approach on Safety

現在位置 [トップページ](#) > [安全への取り組み](#) > [安全研究所](#)

### 安全研究所

[安全研究所トップ](#)


[安全研究所の取り組み](#)

[研究成果の活用](#)

[研究体制](#)

#### あんけん Vol.1 ~研究成果レポート~

この研究レポートは、これまでの安全研究所の取り組みや平成19年度までの主な研究成果をとりまとめたものです。今回の主な研究成果としては安全マネジメントシステムの構築・運転士が起こすヒューマンエラーの分析・効果的なほめ方・叱り方などです。詳細は下記をご覧ください。**(※無断複製厳禁です。)**

 ※一括でご覧の方はこちら [PDF形式\(3,071KB\)](#)

##### 1.安全マネジメントシステムの構築に関する基礎的研究

各職場において潜在するリスクの高いヒューマンエラーを容易に把握するためのリスク評価手法の提案を目指して研究を行っています。

 [PDF形式\(447KB\)](#)

##### 2.ベテラン運転士と若手運転士が起こすヒューマンエラーの分析及び対策

ベテラン運転士と若手運転士が起こすヒューマンエラーの発生傾向を分析して、その特徴にあわせて効果的な防止対策の提言につながる研究を行っています。

 [PDF形式\(456KB\)](#)

##### 3.睡眠のとり方及び眠気防止に関する研究

##### 4.効果的なほめ方・叱り方に関する研究

## 日本の生徒の勉強は？

『世界各国の 中学 2 年生を対象に 数学と理科の 国際テストが 行われました。世界 38 の国や地 域の中学 2 年生、およそ 18 万人を 対象に行っ たテストの結果から、日本の生徒は「数学」では、 シンガポール、韓国 台湾、香港に次いで 5 番目、 「理科」も台湾、シンガポール、 ハンガリーに 次いで 4 番目に高い成績でした。一方で、「数 学」を「好き」と 回答した日本の生徒の割合は 48%で、回答した 37 の国と地域の中で 36 番目、「理科」についても回答した 23 の国と地 域の中で 22 番目と、世界最低レベルであるこ とがわかりました』

(毎日新聞、2000、11月)

# 最近の「学力」問題

- これまで、日本では、世界的レベルで、学力は高かったが、「勉強は嫌いだ」という子が多い。

どういう強化の形で勉強してきたのか？

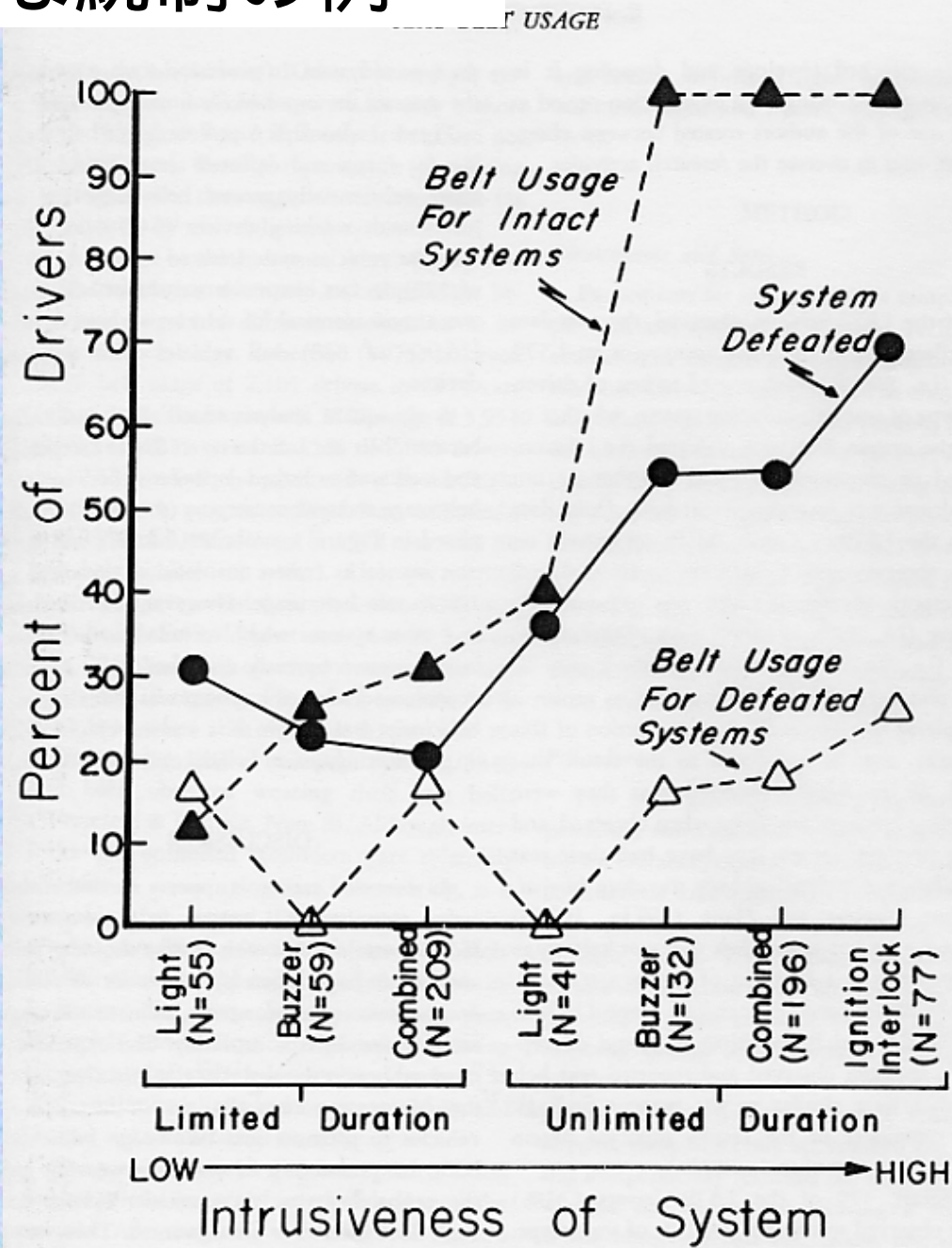
# 罰や負の強化で維持される状況

そのとき人は・・・

1. 罰で抑え込まれた行動（ほんとうはやりたい場合）は、罰を与える人がいなくなると出てくる。
2. 罰や負の強化が続くと、人は、その状況から**逃避**する（逃げる）
3. 逃げられないとき：仕組みを壊す（攻撃行動）に出る。無気力になる。



# ネガティブな統制の例



# なぜヒトは「罰」や「負の強化」 を使ってしまうのか

「正の強化」でも「負の強化」であっても、  
ヒトは**即時的な強化に弱い**

**負の(即時的)強化で維持されて  
いる、「わかっちゃいるけど、や  
められない」罰**